

Photo Gallery

畑区で土砂災害に備え訓練 土砂災害から身を守るために



▲次々と情報が入り、緊迫した雰囲気での災害対策本部

6月6日、地区内に急傾斜地を持ち、過去に大きな土砂災害が発生している畑区で土砂災害に備えた防災訓練が行われました。訓練には同区の住民、函南町、函南町消防団、田方北消防署、災害ボランティアネットワーク、函南町など、総勢約百人が参加。前日から大雨が降り続けているという想定で、避難準備情報や避難勧告の発令に伴う情報伝達訓練や避難訓練、防災講習会などを行いました。

フリーマーケット リサイクルで資源を有効活用！



▲活気あふれるフリーマーケット会場

6月6日、函南町役場駐車場で、函南町フリーマーケットが開催されました。町内の個人やグループなど53団体が出店し、衣類や食器、生活雑貨、おもちゃなど、家庭で眠っていた様々な品物が出品されました。当日は天候にも恵まれ、晴天の約600人の来場者が買い物を楽しみました。会場には値段交渉を楽しむ元気な声も聞かれました。

西部保育園舎安全祈願祭 園舎の建て替えが始まります



▲安全な工事を祈願して、くわ入れをする森町長

6月11日、西部保育園敷地内（園舎南側）で、新西部保育園舎安全祈願祭が行われました。式には森町長、函南町議会、函南町教育委員会、区長、工事関係者などが出席。素晴らしい園舎の完成と、その安全な工事が祈願されました。老朽化に伴い、耐震性の問題などから建て替えられることになった同園舎。平成23年1月に新園舎の完成・旧園舎が取り壊される見込み。来春中にグラウンド整備が行われる見込み。西部保育園の平成22年度卒園式と平成23年度入園式は新園舎で行われる予定です。

田方消防本部
3種目で優勝 全国、関東大会へ進出



▲表彰状とトロフィーを見せ、森町長に結果を報告する隊員

第39回静岡県消防救助技術大会が6月9日、静岡市清水区の県消防学校で行われました。消防技術を競う同大会。田方消防本部からは6種目・隊員18人が出場しました。

田方消防本部は、6種目中3種目で優勝。「ロープブリッジ渡過」「ほふく救出」の2種目は8月に京都で開催される全国大会に、「障害突破」の部は7月に神奈川で開催される関東地区指導会に進出します。

出場隊員は6月11日に石上消防長らとともに函南町役場を訪れ、森町長に大会の結果を報告しました。

函南町水防訓練
出水シーズンに備えは万全



▲実際にロープで溺れた人を引き寄せる訓練

6月20日、函南町と函南町消防団、各区自主防災会、函南町建設事業防災協力会、田方北消防署、函南町議会など合計約400人が参加し、来光川堤防（五反田橋付近）で、函南町水防訓練が行われました。

参加者は、大雨・洪水など河川の越水対策に役立つ「積み土のう工法」の実践訓練に参加。一袋ずつ土のうをつくり、堤防に積み上げました。また、国土交通省の災害対策用排水ポンプ車の実稼動を見学し、ポンプ車の排水能力を確認。今回初めて、田方北消防署員による溺れた人を助ける講習も開催され、多くの実践的で充実した訓練が行われました。

函南スイカ
いよいよ出荷最盛期！



▲スイカを切り、甘さを確認する真剣な眼差しの関係者

函南町の特産品、函南スイカの出荷が最盛期を迎え、JA三島函南函南支店鮮果場では、職員の出荷作業が本格化しています。

3月・4月の遅霜と日照不足から例年に比べて発育が遅れましたが、5月以降の天候回復により、糖度も12度前後で甘さも十分。例年並みの良質な仕上がりになりました。

最近は夏バテ防止や動脈硬化予防などに有効な成分が豊富に含まれていることで注目されるスイカ。夏のおやつに適していて、贈り物にも喜ばれそう。函南スイカは、町内や近隣市町のスーパーなどで購入できます。